

軍艦嵯峨製造件

1485

嵯峨



起案第一號

明治四十四年六月十二日起案

六月二十二日發

提案

艦政本部長

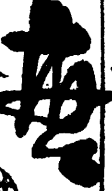


第三部長



部員

大臣



副官



第四部長



部員

次官



參事官

第一部長



部員

第二部長



部員

軍務局長



會計課長



局員



經理局長



主任局員



局員



軍令部長



第一班
第二班

明治四十四年六月

海軍大臣

佐世保鎮守府司令長官友平

砲艦一隻製造

發送管庫三〇號

1486

軍備補充費軍艦及製造費ヲ以テ砲艦
 壹隻四十四年度起工四十五年度竣工豫定
 ラ以テ別紙要願書着面及製造方法書を依
 リ其府海軍工廠ヲ以テ製造セシムヘシ又水艦ニ装
 備スル兵器海軍艦政本部長ヲ以テ管理スル
 事ニシテ備案該工豫定々四十六年六月ト定ム
 但シ造船費豫算別紙ノ通りトシ製造方法
 法書ニ追テ海軍艦政本部長ヲ以テ送付セ
 シム

右訓令

(別紙陸軍省圖書目録之圖書類九上席)
 (終)

備考

水艦製造之要ニ造船造兵費ニ軍備補充
費軍艦製造費既定豫算内ニ於テ差
繰出雜ノ差

(花崎納)

開元
製圖室
水三印
松内
成國
部足
年
有
元

海軍

軍備補充費 軍艦製造費 造船費
 艦艇製造費 後算書

船體機系及
 備品費

約款

四十六年

四十四年度

三十一日

四十五年度

九十六日

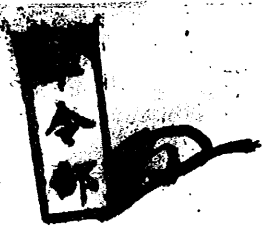
海軍

(花崎坊)



LIST OF DRAWINGS.

	Sheet.
Particulars-----	1.
Lines-----	1.
Body Plan-----	1.
Offsets-----	1.
Midship and End sections-----	1.
General Arrangement-----	1.
Rigging Plan-----	1.
Displacement Sheet-----	1.
General Arrangement of Machinery-----	1.



軍務局

繼政本部

五月五日

電

明治三十五年五月二日

参謀長

参謀

佐世保

佐世保海軍工廠

佐世保海軍工廠

大臣閣下

八五海軍

起工豫定期日

明治三十五年五月五日

局員

右報告

各班

各員

各課

各係

小使

15311

皇

御覽

一月二十七日

海軍本部

軍務局

經理局

軍令

工廠第 二

明治四十一年一月十七日

佐世島海軍工廠長黒井悌次郎

経理部 第二課長

海軍大臣男爵齋藤實

船起工ノ件

五噸砲艦四十五号一月十七日起工(キル抵付)致候

報出ス

第一班
第二班
第三班

海軍

1492

佐廠第四號ノ三二三

明治四十五年六月十一日

佐世保海軍工廠長加藤定三

佐世保海軍工廠長印

海軍大臣男爵齋藤實毅

伊覽

七八五噸石艦竣工豫定延期件

同下崇廠於テ先出申七八五噸石艦工竣工豫

定期日本年十月第三部

納期ヨリ本年七月第三部

ナリ冷却機材及パイプ等

石炭火機大同盟四社

月止向頃納期延滞ノコト

先ヨリ本年十二月末日ニ延期致ス

第三部

第三部

第三部

軍令部

官房第二〇七八第一班

海

24. 三

6-2

軍

佐世保 15.6.1 後付

1493

右
報
生
ス

海

軍

表

(2) 海軍 報生

1494

起案罰紙第一號

大正元年九月

日起案
 九月九日發行
 發行後持印

擬案

艦隊部長

第三部長

第四部長

第一部長

大臣

次官

副官

參事官

參事官

參事官

第一部長

第二部長

第三部長

九月十日上奏

軍務局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

日 日 步 裁 可

軍令部長

次長

大正元年九月

軍艦進水

海軍大臣

送號

海軍

元九月十一日

軍令部長

1495

左ノ通奉作 允裁候

佐世保海軍工廠ニ於テ製造ノ七百八十
噸砲艦 来リ 二十七日 進水セヨク

(終)

官房第 四八の 號

大正元年九月十日 海軍大臣

佐 鐵 貝 吉 友

軍艦 進水ノ 旨

佐世保海軍工廠ニ於テ製造ノ七百八十噸砲艦
来リ 二十七日 進水セヨク

右傳達ス

(終)

五五

五五

船	破	乙	船	日	皇
---	---	---	---	---	---

1496

以下二條
 船名
 1497

船名
 船名
 船名

大正元年九月十一日

海軍次官友

侍従武友長

東宮武友長

海軍工廠

佐世保海軍工廠

来し二十七日

右通知

(印)

(横)

供覽

陸

艦政本部

軍務局

人事局

軍令部

佐鎮第九五號

大正元年八月廿八日

佐世保鎮守府司令長官 島村速雄

海軍大臣 野澤 實殿

砲艦進水

目下當工廠製造中七百八十五噸砲艦九
月三十一日進水可致至砲艦進水修試驗檢查規則第七
條、依第一節

右報會共錄入

終

海軍省接受

海軍

1.0.2

21

1499

起案紙第一號

明治元年九月

日起案

抄印

九廿二

日發付

持印

發付後

審者捺印

程案

大臣

次官

參事官

副官

松平

第三部長

員

會計課長

見

軍務局長

局員

印

小牧

印

印

明治元年一月此砲艇構造于始人
今中艇體一咸多告于塔城上存名也

軍務局長

送

每頁

1500

9-21

大正元年九月廿一日 海軍大臣

官房第五九〇號

大正元年九月廿一日 海軍大臣

佐藤副官長為之

奉命書送授件

七五〇十五號砲艇奉命書軍艦進水手續
外八條之條了別送授不

右心得

(別奉命書送) (件)

起案紙第一號

大正元年九月

日起案

掛印

滿俊

九世

發行

掛印

木村

後付

掛印

元

掛印

提案

艦政本部長

第三部長

福田

部員

滿俊

大臣

副官

會計課長

平野

次官

參事官

會計課長

平野

軍務局長

長官

長官

長官

大正元年九月二十七日

海軍大臣

侍從長

軍艦進水件

官房第六四六號

海軍

1502

佐世保海軍工廠に於て製造ノ軍艦嵯峨本日午前八時半、
備りし進水台に於て可成り中執業を成し
右中(終)

第六四六ノ二

大正五年九月二十七日 海軍次官

侍從長友友

東官長友長

軍艦進水

佐世保海軍工廠に於て製造ノ軍艦嵯峨本日午前八時半
備りし進水台に於て

右通知(終)

起案紙第一號

明治三十九年十月

日起案

捺印

捺印

十月七日發行

捺印

捺印

捺印

提案

艦政本部長

松本

第三部長

田口

部員 滿俊

大臣

副

森田

第四部長

外波

部員 義雄

次官

參事官

田中

第一部長

村松

部員 貞敏

會計課長

田中

部員 貞敏

軍務局長

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

經理局長

勝

主任局員

有馬

福

山本

森

田中

田中

田中

軍令部長

次長

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

大正元年十月十日

第三班

第二班

第一班

田中

田中

田中

田中

田中

田中

田中

佐藤第一五〇号 軍艦 嵯峨工事ノ件

房接

十月十日

會 10-7

四 10-6

1504

意見、通し十月三十日迄、後二七五ノリ

(終)

通算

1505

付

佐鎮第一五八號

大正元年 九月三十日

佐世保鎮守府司令長官 島村速雄

海軍大臣 男爵 齋藤 實殿



軍艦嵯峨工事、件

軍艦嵯峨制不造工事竣工期、過般佐殿第四

號、三二ニテ以テ當工廠長ヨリ報告致候通、最初

本年十月三十一日ト豫定セシモ冷却機械及ブラインパ

ノ第四期、細期、遲延、為ノ十二月末日、延期致候候

機本調等装置以外ノ工事、總テ着工、進捗ニ豫定

通會計課、三ノ百、致上、可致見込、有之候、付テ

後、一、特就

軍令部

第三班

第三班

第三班

第三班

第三班

第三班

第三班

第三番庚シ

後セリノミ 近ノ時域ヲ得ル才全工事ヲ詔リ
志好都存上思考致ス
右意自提セス

近ノ軍艦宇治特定 修理ノ成速ニ男子取
交弁岨岨トノ交代ヲ俟テ之當也、廻航セシナレ
候様致意副申ス

(続)

供

艦政本

軍務局

軍令部

第三班

第三



大正元年七月二十一日

佐世保鎮守府司令長官代理

海軍少將 加藤 定吉

佐世保鎮守府司令長官印

軍艦山崎旋回力試験成績簿

右進達

老通

第三班 第二班 第一班



啓

1509

△ 議決
議決

第三
計書

起案罪罰第一

明治元年十月二日起案

十月九日發行

發行後起
案者捺印

提案

艦政本部長

第四部

田中

尾崎

大角

大臣

陸奥

副

陸奥

陸奥

第三部

田中

尾崎

大角

次官

參事官

會計部

田中

尾崎

大角

軍務局長

局員

田中

尾崎

大角

田中

經理局長

勝

主任局員

泉

大角

大正元年十月九日

佐鎮第四七號軍艦塔嶽新造公試

發送
官房
第七號

每頁

十頁

1510

運轉ニ関シ上申、件 認 許 ス

但シ左記ノ試験ヲ加ヘ施行スル儀ト心得ル

一 計画全カニテ二時間航続試験

一 計画全カ十分ノ四ニテ二時間航続試験

一 八海軍ノ速力ニ對スル馬力ニテ標柱間往復

一 面試航及試験時間試験

一 標柱間、試験航、各其航続試験時間内

ニ於テ之ヲ施行スルヲ得

(次)

佐鎮第一七號

大正元年 九月廿五日



佐世保鎮守府司令長官島村速雄

海軍大臣男爵齋藤 實殿

長官印

七五噸砲艦新造公試運轉ノ件

目下當工廠に於て製造中ノ七五噸砲艦ノ特種ノ船
形部員其新造公試運轉ノ軍艦字治ニ準
別紙ノ通、執行致度候事、相成、交
右、上申、又

(右ノ件、一葉添)

終

艦政本部
第四部
第三部
會計課
軍務局

海軍第七六〇號

海軍

陸四
9-30
976.1
海軍省
文書課

七八噸砲艇新造公試運轉

標柱間ノ試験

試航種類

標柱間往復回数

備考

計畫全カ

二回

計畫全カ十分八

一回

全 十分六

一回

全 十分四

一回

全 十分二

一回

十節速力對馬力

一回

本試航、航續試験時間内ニ於テ之ヲ執行スルナシ

本試航、航續試験時間内ニ於テ之ヲ執行スルナシ

航續試験

試航種類

航續時間

備考

計畫全カ十分八

全 十分六

十節速カ・對カ馬カ

六時間

二時間

二時間

本試験、開放検査後執行ス

1514

軍艦 計 馬力 1000 計 速度 13 Kt. 計 回轉數 240

公試成績

規定試験		馬力	速度	回轉數	
標 柱 間	計 馬力 (連続二回)	張圧通風全力 連続二回	1021.46	13.070	246.44
	合 $\frac{8}{10}$ (" 一回)	自然通風全力 合	661.13	12.324	215.06
	合 $\frac{6}{10}$ (")	合 $\frac{4}{5}$ 連続二回	575.62	12.078	206.02
	合 $\frac{4}{10}$ (")	合 $\frac{3}{5}$ "	406.42	11.014	183.89
	合 $\frac{3}{10}$ (")	合 $\frac{2}{5}$ "	257.29	9.708	156.68
	合 $\frac{2}{10}$ (")	合 $\frac{1}{5}$ "	135.38	7.720	124.10
+ 前速度 = 対馬力 (")					

航 路	計 馬力 (八時間)			
	合 $\frac{8}{10}$ (")	自然通風全力 (六時間)	671.10	12.219
	合 $\frac{6}{10}$ (十六時間)			
	合 $\frac{4}{10}$ (四時間)			
	合 $\frac{3}{10}$			
	合 $\frac{2}{10}$ (")			
+ 前速度 = 対馬力 (")		+ 海里 (=時間)	427.98	10.641

起案紙第一號

津城

大正

元十一年九月

提案

艦政本部長

十月十日發行

發行所

大村

海軍省

松

元十月廿日

軍務局接受

大

次官

參事官

副

長

第三部

第四部

第一部

第二部

會

名

軍務局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

經理局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

軍令部長

濟

大正元年十月二十日

大臣

佐鎮第一五八號、三軍艦嵯峨製造

發送

番號

海軍

1516

11-2

10-

10-30

10-30

10-30

工事竣工期日^{（並期）}件認許ス

（終）

1517

至急

佐鎮第一五八番ノ三

大正元年 十月廿四日

佐世保鎮守府司令長官 島村速雄

海軍大臣 男爵 齋藤 實殿

佐世保鎮守府司令長官印

嵯峨製衣造工事竣工期日ノ件

軍艦嵯峨製衣造工事、官房第七。九號、二

御訓令、依り、本月三十日迄、竣工セムハキ、處未

三十日公試運轉結了後、入渠上推進器及舵

、検査並ニ手入ヲ要シ候、件、竣工期ヲ来月八日延期

致度、候条、至急御認許相成度

右申上

(統)

艦政本部

第三部

第四部

第一部

會計課

官房第九十五

海軍

11.10.29

1518 10-29

二 末 家 舵 延 期

1518

